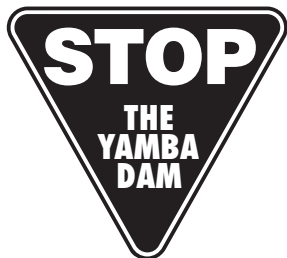


その、8,800億円に

異議あり!



首都圏のみなさん!

私たち利根川流域の市民は、国のムダな公共事業である
ハッ場ダム事業（群馬県）を中止させる為に、
不退転の決意で闘いを開始しました。

1都5県にも事業費を負担させる国土交通省は、
事業の目的をこう説明しています。

利
降った雨を貯えて、
首都圏（埼玉、東京、群馬、
千葉、茨城の1都4県）に
住む人々が安定して
水を利用できるように
する。

治
降った雨がすぐに流れ
てしまう吾妻川と利根
川の水をコントロール
して、首都圏（栃木を
含む1都5県）を洪水か
ら守る。

しかし、この説明には疑問点が多く、市民で分析を進めるうちに、
利水、治水、地質などあらゆる面で根拠が無く、危険なダムである
ことが明らかになっています。

その事業費は2003年に改定され、それまでの2.2倍、4,600億円に膨れました。
関連事業費と利息を含めると8,800億円にもなる日本一高いダム事業です。

このような事業に首都圏市民の怒りは高まり、「ハッ場ダムをストップさせる市民連
絡会」が6都県で結成され、それぞれの自治体に対し、昨年9月、ダム負担金支
出の取り止めを求める住民監査請求を行いました。5400人もの市民です。しか
し、監査らしい監査もなしで、却下・棄却でした。そこで昨年11月、6都県の地
方裁判所に住民訴訟を起こして、法廷闘争を開始しました。

一方、国交省は、1994年以降、小学校の移転(完了)、水没地に代わる代替地
の造成、防災ダム、付替道路、付替鉄道などの周辺工事をダム予定地で進めて
いますが、まだまだ沢山の工事が残されていますので、順調に行っても本体工事
が入るのは随分先のことです。

わたしたちは、本体工事に入る前に、無駄な事業を何としても中止させたいと考
えています。6都県のうち1つでも事業から撤退すれば、ハッ場ダムは止まります。
首都圏のみなさんの力強いご支援とアクションを心よりお願いします。

住民訴訟に勝利し、

ハッ場ダム事業をストップさせよう!



Action

だから、アクションを起こそう!

- ☆ 6都県での裁判を傍聴しよう! (日程は下記アクセスより)
- ☆ 国土交通省と関係自治体へ抗議の声を起こそう!
- ☆ 国会議員・関係自治体議員へ働きかけよう!
- ☆ 各都県の会に参加しよう!
- ☆ 長期の闘いを支えるカンパ活動を起こそう!

Access

- ☆ インターネット Web サイト
- ハッ場ダム訴訟 HP
<http://www.yamba.sakura.ne.jp/>
- ハッ場ダムを考える会
<http://www.yamba-net.org/>
- ハッ場ダムをストップさせる千葉の会
<http://stopyamba.cool.ne.jp/>
- ☆ 各市民連絡会
- ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会 (谷合周三法律事務所)
〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-4 麹町ハイツ 502
電話: 03-3512-3443 FAX: 03-3512-3444
- ハッ場ダムをストップさせる東京の会
〒187-0001 東京都小平市大沼町 1-106-19
電話: 042-341-7524 FAX: 042-341-7524
- ハッ場ダムをストップさせる千葉の会
〒285-0825 千葉県佐倉市江原台 2-5-29
電話: 043-486-1363 FAX: 043-486-1363
- ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 3-12-3-601
電話: 048-825-3291 FAX: 048-825-3291
- ハッ場ダムをストップさせる茨城の会
〒302-0023 茨城県取手市白山1-8-5
取手 電話: 0297-72-7506 FAX: 0297-72-7506
長野原 電話: 0279-84-7010 FAX: 0279-84-7010
- ムダなダムをストップさせる栃木の会
〒323-0807 栃木県小山市城東 2-10-22
電話: 0285-23-8505 FAX: 0285-22-5608
- ハッ場ダムをストップさせる群馬の会
〒371-0801 群馬県前橋市文京町 1-15-10
電話: 027-224-8567 FAX: 027-224-6624

Buy a Book

だから、本を買って読もう!

- ☆ 岩波ブックレット「ハッ場ダムは止まるか」は、ハッ場ダムを考える会で編集したワンコイン本(480円+税)です。(岩波書店発行)

ハッ場ダムのここが問題

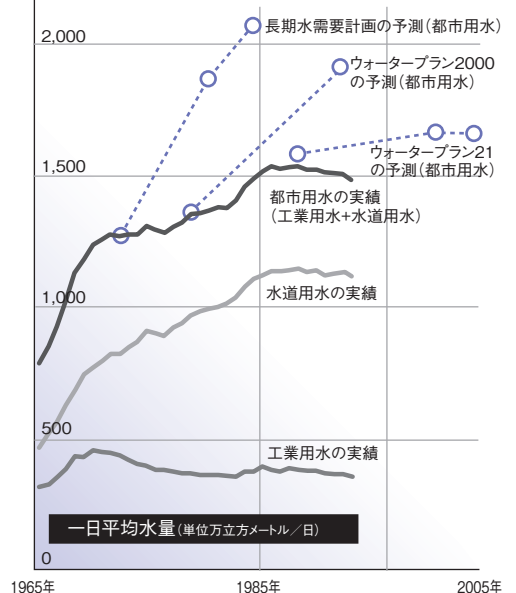
温泉街と美しい渓谷がダム湖に沈む!

『歓迎 よこそ・ダムに沈む 川原湯温泉』こんな看板がJR川原湯温泉駅を下りると目を引きます。そう、ハッ場ダムの地元は源頼朝が狩の途中で発見したと云う由緒ある温泉です。(現時点で旅館数は13) このダムにより温泉街を含め、340世帯が水没してしまいます。また予定地周辺にある、文化財保護法の名勝に指定されるほど美しい「吾妻渓谷」(約3.5Km)は、ダム建設で台無しになってしまいます。ダムは地域と自然を破壊する事業です。

過大な水需要予測!

国は「関東では数年に1回の割合で渇水が起きる」と事実を誇張し、危機感を煽ります。これは真っ赤なウソで、実際には各都県とも水需要は年々減少し、十分な水源をすでに確保しています。2015年以降、人口は減少期にはいり、水余りに拍車がかかります。

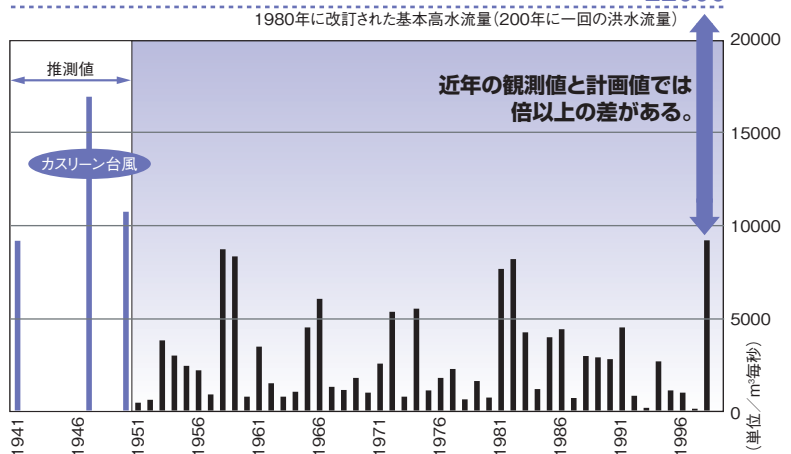
■都市用水における実績と国の予測の違い (利根川流域6都県/平均水量ベース)



過大な洪水想定、非現実的な治水計画!

国が推進する利根川治水計画は、非常に過大な洪水流量を想定し、非現実的なものです。また近年、脱ダムの流れと財政難で、利根川流域のダム計画も中止されることが多く、ダムさえ作れば洪水を防げるとするのは、時代錯誤の間違った考え方です。昨年の新潟水害においても、ダムが救世主でないことが証明されています。

■利根川・八斗島地点の年間最大流量の観測値



ダム予定地周辺は危険な地質!

貯水池予定地の周辺は、かつて浅間山の爆発で流れた泥流の堆積地です。ダムサイトの岩盤も非常に脆弱であることが明らかになっていて、岩盤崩壊と地すべりが起きる危険性があるとんでもない場所です。